



いわきの子

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く 子どもの育成」

岩城小学校
学校便り
第52号
R4.11.22
文責：佐藤

市教委授業力向上訪問Ⅰ



11月16日（水）は、由利本荘市教育委員会授業力向上訪問があり、中野大指導主事をお迎えし、5校時目の2年算数「目指せ！九九名人 『かけ算（1）』」の授業を参観していただきました。

午後の授業にもかかわらず2年生の子どもたちはとても意欲的で、「えんぴつを2人に、5本ずつくばりませう。えんぴつは、ぜんぶで何本ありますか。」の問題の



式が (2×5) と (5×2) のどちらになるのか懸命に考えました。図をかいたり言葉にこだわったりしながら、「5本ずつ」と書いているからこれが〈1つ分の数〉、「2人」だからこれが〈いくつ分〉だから、〈1つ分の数〉 \times 〈いくつ分〉=〈全部の数〉で答えが求められるという結論に至りました。授業の最後には、「順番通り（出てきた数字の順に式にする）だと思ったけれど、話を聞いて分かった」「前よりも気を付けることが分かった」という振り返りも発表され、成長を感じることができました。

障害理解学習

14日（月）の午後、4年生、5年生はゆり支援学校の高橋真理子先生を講師としてお迎えし、障害理解学習を行いました。

4年生では「ヘルプマーク」について説明を聞き、実際にそれを示された時にどのような行動をとるべきかを考えました。5年生ではパラリンピックの出場選手のメッセージを視聴し、平等と公平の違いについて学びました。また、軍手をはめてお花紙をめくって作業のしづらさを体験して、障害についての理解を深めました。

障害や障害者の困り事を理解し、支え合いながら必要な手助けを行って、共生社会を目指していきたいものです。



1年生のおもちゃランドへようこそ！

15日（火）は保育園年長さんの体験入学として、1年生が「秋のわくわくおもちゃランド」に招待して一緒に遊ぶ計画を立てていました。しかし、事情があり実施できなくなり、1年生は落胆してしまいました。せっかくおもちゃを作って遊び方まで考えて準備していたので、対象を変えて2年生に遊んでもらうことになったようです。そして招待状を届けに行き、実現しました。

おもちゃランドでは、「どんぐりのマラカス屋」「落ち葉で作った魚のつりぼり」「どんぐりの玉入れ」「木の実を使ったけん玉屋」「どんぐりこま屋」など魅力的な物がたくさんでした。2年生は遊びそのものも楽しんでいましたが、材料をもらってコースターやしおりを作ることもできたのでとても熱中していました。マラカス屋さんでは、CDで流している音楽に合わせてリズム良くマラカスを鳴らし、1年生も2年生もにこにこ顔でした。きっとどちらも満足だったことでしょう。

年長さんへ用意していた歓迎のお手紙は、この後保育園の方にお渡しする予定です。1年生の気持ちが年長さんに届きますように……。そして、年長さんが入学に希望を持つことができますように、と願います。



6年生 租税教室



17日（木）5校時、市民サービス課の熊谷さん、佐々木さんを講師にお迎えし、6年生の「租税教室」を行いました。社会科で税については既習済みです。

DVDを視聴したり、お話を聞いたりすることで、税のしくみや私たちの身の回りで実際にどのように使われているのか、復習することができました。最後には、1億円のレプリカが入ったトランクを持ち上げてみて、その重さを体感することもできました。

